

服用に際して、この添付文書を必ずお読みください  
また必要な時に読めるよう大切に保管してください  
使用期限(パッケージ底面に記載)を過ぎた製品は服用しないこと

## 筋肉弛緩成分配合

# コリホグス錠

販売名:コリホグス

第②類医薬品

### 製品特徴

- つらい肩こりをしっかり、すばやく鎮める内服薬です
- 筋肉弛緩成分「クロルゾキサゾン」が、硬直した筋肉を内側からゆるめて、肩こりをほぐします
- 痛み止め成分「エテンザミド」が、肩や首すじのつらい痛みを和らげます

### △ 使用上の注意

#### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと
  - (1) 本剤または本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (2) 本剤または他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
  - (3) 15才未満の小児
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと  
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
3. 服用後、乗物または機械類の運転操作をしないこと(眠気などがあられることがある)
4. 服用前後は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと



#### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること
  - (1) 医師または歯科医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
  - (3) 授乳中の人
  - (4) 高齢者
  - (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (6) 次の診断を受けた人  
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
顔面	はれ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
その他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診察を受けること

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁などがあられる
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤などが持続したり、急激に悪化する
ぜんそく	息をすするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しいなどがあられる

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師または登録販売者に相談すること

### 効能・効果

肩・首筋などの痛みおよびこり、腰痛、背痛、ねんざ、うち身、神経痛・リウマチ性疼痛、四十肩、関節痛、筋炎、腱炎

### 用法・用量

次の量を疼痛時または発作時に水または白湯で服用してください  
(1日2回までとすること)

年齢	1回量	1日服用回数
大人(15才以上)	1～2錠	2回まで
15才未満	× 服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>定められた用法・用量を厳守すること

- 初めの方は1錠からの服用をおすすめします。状態をみながら、1回1～2錠服用してください

### 成分・分量 2錠中

成分	分量	はたらき
クロルゾキサゾン	300mg	硬直した筋肉をゆるめて、肩のこりをほぐす
エテンザミド	300mg	肩こりなどの体の痛みを鎮める
カフェイン水和物	50mg	薬剤による眠気を防ぐ

添加物として、メチルセルロースを含有する

### 保管および取扱い上の注意

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに保管すること
2. 小児の手の届かないところに保管すること
3. 他の容器に入れ替えないこと(誤用の原因になったり品質が変わる)

製品のお問合せは、お買い求めのお店またはお客様相談室にお願いいたします

発売元  
小林製薬株式会社  
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

製品のお問合せ先(お客様相談室)  
☎0120-5884-01  
受付時間9:00~17:00(土・日・祝日を除く)  
☎-A-2-7 http://www.kobayashi.co.jp

製造販売元  
富山薬品株式会社  
〒930-2241  
富山県富山市四方西番瀬石瀬175番地  
MADE IN JAPAN

### 錠剤の取り出し方

下図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながる)

